

東日本大震災における公民館の取組事例

【事例】

①宮城県気仙沼市松岩公民館

避難者数:118人(6月15日現在)

取組内容:松岩公民館は、建設当初から建設計画に地区の自治会が参画しており、住民の思い入れの強い、地域に根ざした公民館である。この地域では、震災前から松岩地区の自治会長連絡協議会など、19団体の代表者25人からなる公民館経営委員会が中心となって運営を行ってきており、今回の震災においても、この公民館経営委員会が中心となって避難所生活を支えている。

日頃からの公民館への協力体制を活かし、浴室の設置や朝昼晩の食事なども、各地区の自治会が中心となり、住民とボランティアが協力して活動を展開しているのが大きな特徴。

